

させぼ民報

2020年4月・5月号外 定例佐世保市議会の報告を紹介します。

発行 日本共産党佐世保市委員会 電話0956-25-6811

f 小田のりあき 検索



日本共産党佐世保市議会議員
小田のりあき
市議会報告



北松中央病院

厚生労働省は昨年9月に、公立・公的病院の再編・統合の議論が必要として424の病院名を公表し、「北松中央病院」もその対象とされましたが、地域住民から大きな不安が広がっています。

小田 12月の時点では、国からの正式な要請通知が未達とのことであったが、その後の進捗状況を尋ねる。

保健福祉部長 令和2年1月17日付け厚生労働省医政局長通知により、正式な検討要請があった。「旧江迎町を中心とした合併地域のほか、松浦市、平戸市など、県北地域の拠点病院として、民間の医療機関を含め代替となり得る機能は見当たらず、地域内において必要不可欠な機関である」との本市及び病院の意見を説明したところである。

その後、それぞれ対応方針に基づく再検証の協議が行われ、病院の役割等については一定ご理解いただいたものと

新型コロナウイルスによる感染症が拡大しているなか、小田のりあき議員は昨年12月議会に続き、3月議会でも「北松中央病院」の再編・統合問題について質問しました。

新型コロナ対策で 公的病院はますます重要 北松中央病院を守ろう

日本共産党の小田徳顕市議は2020年3月佐世保市議会で、石木ダム問題、IR（カジノ）問題、公的病院の再編などについて一般質問を行いました。

認識している。

新型コロナ問題

休業補償、家賃補助など 市民団体が佐世保市に申し入れ



市に申し入れをする市民団体の代表と小田のりあき市議(左から3人目)

佐世保市内の4市民団体は4月20日、佐世保市長に新型コロナウイルスから命と健康、暮らしと営業を守る申し入れを行いました。小田のりあき市議も同席しました。

応対した田中英隆副市長

今年3月3日の参院予算委員会、日本共産党の小池晃参院議員の質問に、加藤勝信厚労大臣は、「感染症病床全体の九割以上が公立・公的病院が担っている」「感染症対策における公立・公的病院医療機関の果たす役割は大変大きなものである」と答弁し、リストは資料として出しただけという態度でした。

厚労省は3月4日の「通知」で、再検証の期限の撤廃（再整理）を余儀なくされました。

は、「4月内に佐世保市独自の支援を策定するようにしてあり、申し入れの内容は参考にさせていただきます」と応えました。

申し入れの主な内容

- 中小企業、小規模事業者に対し佐世保市独自の緊急経済対策補助金制度を創設し、家賃等の固定費を補助すること。
- 介護・障害者施設等社会福祉施設の感染症対策の必要経費を補助すること。
- 傷病手当の支給を「被用者」にとどめず、個人事業主と家族専従者、フリーランス等、国民健康保険対象者全ての被保険者に対象を拡大し、市長専決での決定を早急に行うこと。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に対して、国民健康保険税の免除等を行うこと。
- 米海軍佐世保基地に対して新型コロナウイルス感染者に関する情報公開をさせること。
- コロナの影響で増加するDV・虐待等を救済する措置を充実させること。
- 消費税率5%への引き下げを国へ求めること。

新型コロナウイルス問題での相談は
小田のりあき市議へ